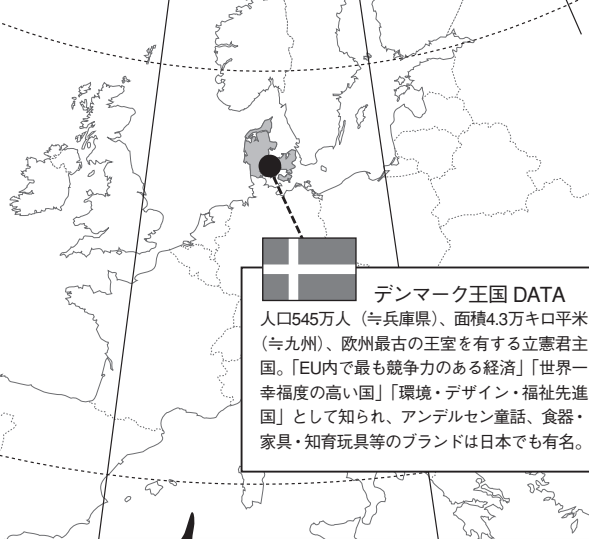




コペンハーゲン通信 2



デンマーク王国 DATA
 人口545万人（≒兵庫県）、面積4.3万キロ平米（≒九州）、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「EU内で最も競争力のある経済」「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具等のブランドは日本でも有名。

当会事務局職員が、本年1月より在デンマーク日本大使館（在リトアニア日本大使館兼任）に出向しています。「EUの中で最も競争力のある経済」（世界経済フォーラム）との評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。



デンマーク型労働市場

齋藤 弘憲

在デンマーク日本大使館一等書記官
(経済同友会事務局より出向中)



◆デンマークはEUの理想モデルのひとつ

欧州では、グローバル化と少子高齢化に対応し、国際競争力を維持・強化していくため、「より多くの質の高い雇用」を生み出す労働市場のあり方をめぐって熱い議論が繰り広げられています。

6月27日、EUは労働市場政策に関する政策提言を発表しました。この中で、目指す理想モデルの実例のひとつとしてデンマーク型労働市場が挙げられており、好景気と失業率低下が続くデンマークにEU各国の羨望の眼差しが注がれています。

◆「フレキシキュリティ」「黄金の三角形」

EUが提唱するモデルは「フレキシキュリティ (flexicurity)」と呼ばれ、これは雇用の「柔軟性 (flexibility)」と「安定 (security)」という、一見相反する2つの概念を組み合わせた造語で、両者の両立を目指すものです。具体的に、デンマークにおけるフレキシキュ

リティは「黄金の三角形」と称される以下の3つの柱から構成されています。



デンマーク人の生涯平均転職回数は6回

- ①柔軟な労働市場（解雇や転職が容易）
 - ②手厚い失業保障（失業手当は失業前収入の最大9割を最長4年間支給）
 - ③充実した再就職支援（職業訓練と再就職斡旋を主とする「活性化プログラム」への参加を失業者に強制的に義務付け）
- この「黄金の三角形」が有機的に連携・機能す

ることで、失業への不安が減り、人々の能力を向上させつつ、時代の環境変化に対応した雇用の構造調整・転換がスムーズに行われているのです。

◆デンマーク・モデルは輸出不可能？

ある会食の席で隣り合わせたデンマーク産業連盟の幹部に、「このモデルは他国に輸出可能でしょうか？」と尋ねたところ、



産業界の“総本山”、デンマーク産業連盟本部

その幹部曰く「不可能だろう。これは、デンマークの政労使が100年にわたって築き上げてきた相互信頼と自己規律があるからこそ成り立つ制度であり、容易には真似できないよ」。

確かに、もし産業界が人を使い捨てることしか考えず、労働者は失業手当に甘えて自ら努力せず、行政による再就職支援は非効率でおざなり、というようなモラルハザードがどこかに生じると、「黄金の三角形」は一気に瓦解してしまうでしょう。

◆相互信頼、自己規律、国民の納得と覚悟

さらに、これらを財政的に維持するため、高い税負担（個人所得最高税率59%、消費税25%）に加え、「労働市場貢献金」（所得の一律8%）が課せられており、こうした高負担に対する国民の納得と覚悟があるからこそ可能なモデルなのです。

日本にこのモデルがふさわしいとは思いませんが、「相互信頼」「自己規律」「国民の納得と覚悟」に見られる成熟さだけは、少なくとも見習うべきではないでしょうか。